

2018年11月26日

愛知県が実施した豊橋市での複数台遠隔型自動運転実証実験に参画

損害保険ジャパン日本興亜株式会社（社長：西澤 敬二、以下「損保ジャパン日本興亜」）は、愛知県が2018年度自動運転実証推進事業の第一弾として、豊橋総合動植物公園で実施した、全国初[※]の複数台による遠隔型自動運転車の実証実験に11月17日に参画しました。

※ 遠隔監視・操作が可能な自動運転車両を複数台同時に走行させる実証実験は全国初

1. 背景・目的

愛知県は、全国に先駆けて自動運転の実証実験を重ねています。この度、遠隔型自動運転車を園内バスに導入する可能性を検証するための実証実験を実施しました。

損保ジャパン日本興亜は、東京都中野区にある遠隔型自動運転運行サポート施設（以下、「コネクテッドサポートセンター[※]」）から、約230km離れた愛知県豊橋市で走行する自動運転車を遠隔監視し、トラブル対応のデモンストレーションを実施しました。

※ 【別紙】2. 「コネクテッドサポートセンター」の概要を参照ください。

2. 実証実験の概要

実施日 : 2018年11月17日

実施ルート : 豊橋総合動植物公園（のんほいパーク）内周遊道路

実証内容 : 車両の外部に設置した運転席から、自動運転車2台を同時に遠隔監視・操作する実証実験を実施しました。

自動運転車が障害物を検知して緊急停止したという想定のもと、コネクテッドサポートセンターのオペレーターが乗客に対して、トラブル解決まで安心していただくための呼びかけを行いました。

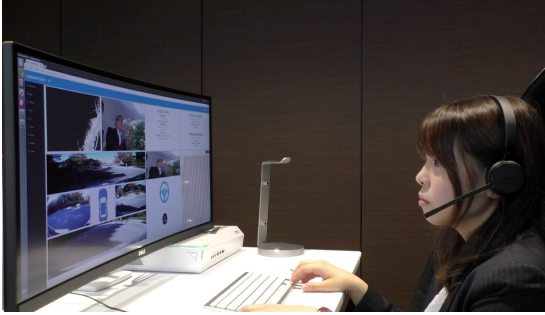
参画企業等 : 愛知県、豊橋市、アイサンテクノロジー株式会社、株式会社ティアフォー、岡谷鋼機株式会社、KDDI株式会社、名古屋大学 他

3. 今後について

愛知県が今年度の実施を予定している、一宮市・常滑市での実証実験をはじめとして、今後もさまざまな実証実験に積極的に参画します。「安心・安全な自動運転社会」の実現に向けて、より一層の産官学連携を進めるとともに、損害保険会社が担う役割の研究をさらに加速させ、新たな価値の創出を目指して取り組んでいきます。

以上

1. 実証実験の様子



【コネクテッドサポートセンター】



【豊橋市内で走行するマイリー】

2. 「コネクテッドサポートセンター」の概要

プライムアシスタンス株式会社（社長：徳岡 宏行）※に9月27日開設した「コネクテッドサポートセンター」は、無人の自動運転車の遠隔監視・操舵介入と、事故トラブル対応等の総合サポートの研究を目的とした施設です。

主に以下の対応を行うことを想定しています。

- ・複数台の自動運転車の走行状況をモニター監視、危険時等における遠隔操作による操舵介入
- ・レッカー手配などのロードサービス手配、現場駆けつけなど現地対応のサポート提供
- ・警察や消防などへの緊急通報支援
- ・事故トラブル時の車両停止時における代替移動手段の手配

※ 自動車や住宅設備などのトラブルを24時間365日サポートするアシスタンス事業を展開するSOMPOホールディングス株式会社のグループ企業です。

【参考リンク】

損保ジャパン日本興亜：コネクテッドサポートセンターの開設（2018年9月28日）

http://www.sjnk.co.jp/~media/SJNK/files/news/2018/20180928_1.pdf

愛知県：複数台の遠隔型自動運転の実証実験（2018年10月31日）

<https://www.pref.aichi.jp/uploaded/attachment/280220.pdf>